

公開実用平成 3-9302

Document 2
(only Japanese)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-9302

⑬ Int. Cl.⁵

B 65 F 1/06
1/10

識別記号

A

庁内整理番号

8818-3E
8818-3E

⑭ 公開 平成 3 年(1991) 1 月 29 日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 汚物入れ

⑯ 実 願 平1-70181

⑰ 出 願 平 1 (1989) 6 月 15 日

⑱ 考 案 者 宮 脇 伸 歩 愛知県常滑市鯉江本町 3 丁目 6 番地 株式会社イナックス
内

⑲ 出 願 人 株式会社イナックス 愛知県常滑市鯉江本町 3 丁目 6 番地

⑳ 代 理 人 弁理士 吉田 和夫

BEST AVAILABLE COPY



明 細 書

1. 考案の名称

汚 物 入 れ

2. 実用新案登録請求の範囲

トイレブース内において主に使用済みの生理用品等の汚物を投入する容器であって、開放形態の投入口を有し、且つ投入された汚物をパックするパッキング手段が設けられていることを特徴とする汚物入れ。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案はトイレブース内に配置される汚物入れに関する。

(従来技術及び考案が解決しようとする課題)

公共のトイレ等においては、トイレブース内に使用済みの生理用品等を投入するための汚物入れが用意してあるが、通常この汚物入れは蓋付きのものであって、汚物投入に際してその都度蓋の開け閉めをすることが必要である。

しかしながら特に不特定多数のものが使用する



公共トイレ等においては、蓋の上に汚物をそのまま載せてしまうことが行われ勝ちであり、而してこのようなことが繰り返されると、汚物入れの内部が空であるにも拘らず、周囲に使用済み生理用品等が溢れるといったことが起こる。

また通常の蓋付きの汚物入れは、蓋を取り付ける関係上投入口が十分に広いとは言えないのに加えて、生理用品には一般に粘着剤が張り付けてあるために、投入した生理用品が投入口付近の容器内壁面に張り付いて入口を狭くしたり、後からの投入を妨げたりする。これもまた、容器内部が十分詰まっていらないのにも拘らず汚物を周囲に散乱させてしまう原因となる。

この他従来 of 汚物入れの場合、容器の内容物を捨てて再び空の状態とする際においても、その内容物が上記したように粘着剤によって容器内壁面に張り付いたりしているため、作業に手間がかかり、これがトイレブース内のメンテナンス作業を面倒とする一因となっている。

(課題を解決するための手段)



本考案の汚物入れはこのような課題を解決するために案出されたものであり、その要旨は、トイレブース内において主に使用済みの生理用品等の汚物を投入する容器であって、開放形態の投入口を有し、且つ投入された汚物をバックするバックアップ手段が設けられていることにある。

(作用及び考案の効果)

本考案の汚物入れの場合、その投入口が開放形態であって蓋を有しないため、容器内部が空であるにも拘らず蓋の上に汚物が載せられて堆積したり、周囲に溢れ或いは散乱したりする現象を回避できる。

また本考案の汚物入れにおいては、投入した汚物をバックできるようになっているため、生理用品の粘着剤が容器内壁面に張り付くのを防止できる。これによりかかる生理用品が容器の投入口近辺に付着して入口を狭くしたり、後からの投入を妨げたりする問題を回避でき、容器内部を容量一杯まで十分に利用できるようになる。また併せて、内容物が粘着剤により容器の内壁面に付着し

たり、内容物同士が互いにくっついたりしないから、容器の内容物を捨てて内部を空にする際の作業も簡単となり、ひいてはトイレブース内のメンテナンス作業も容易となる。

更にこの他、容器内部に投入した汚物は何れもパック状態となるから、蓋が無いにも拘らず容器内より臭気が外部に発散する問題も生じない。

(実施例)

次に本考案の実施例を図面に基づいて詳しく説明する。

第2図において、10はトイレブース内に配置された汚物入れであって、第1図に示しているように底部12と側壁部14とを備えた箱体状を成しており、その上端部には開放形態の投入口16が設けられている。

またその内側には、投入口16の近傍において、裏面側に離型剤の層が、表面側に粘着剤の層が形成されたパック用シート18を巻いて成る一対のロール20が軸22に嵌装されており、これらロール20よりシート18が逐次引き出される

ようになっている。

この汚物入れ 10 においては、バック用シート 18 をロール 20 より引き出しつつ、使用済みの生理用品 26 等を投入口 16 より投入し、そして所定位置で、例えば第 3 図に示しているように容器側壁 14 に設けた操作棒 24 を操作して、容器内部に入り込んだ先端部分を一對のシート 18 の外面より互いに押圧するなどにより、投入した生理用品 26 等をシート 18 により 1 個ずつバックすることができる。

而して生理用品 26 等を投入する都度これをバックしていけば、投入口 16 が常時開放しているにも拘らず、容器内の内容物の臭気が外部に漏れることもないし、また内容物が容器の壁面に張り付いて後からの投入を妨げることもなく、容器内部の容量を十分に活用できるようになる。

また容器の内容物を捨ててこれを空にするとき、バックされた内容物を一挙に捨てることができ、その作業も簡単であり、このためトイレブース内のメンテナンス作業が容易となる。



尚シート 18 として不透明のものを用いれば、内容物を捨てる際にこれを見ないで作業できる利点が生ずる。

以上本考案の実施例を詳述したが、本考案はその他の形態で構成可能である。

例えば上記したパッキング手段はあくまで本考案の一例であり、本考案においては他の様々なパッキング手段を用いることが可能である。例えば上例において、バック用シート 18 として低融点の軟質樹脂シートを用いるとともに、操作棒 24 の先端に加熱手段を設けておいて、シート 18 を加熱・溶融させてシールするようにすることも可能であるし、場合によりボタン、スイッチ等の操作で汚物を自動的にシールするようになることもできる。

この他上記汚物入れは、紙おむつその他の汚物或いはトイレットペーパーを使用した後に残る芯を捨てる際の容器として用いることも可能であるなど、本考案はその主旨を逸脱しない範囲において、当業者の知識に基づき、様々な変更を加えた



形態で構成可能である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例である汚物入れの内部を示す断面図であり、第2図はその汚物入れを含むトイレブース内部の要部斜視図、第3図は第1図の汚物入れの要部斜視図である。

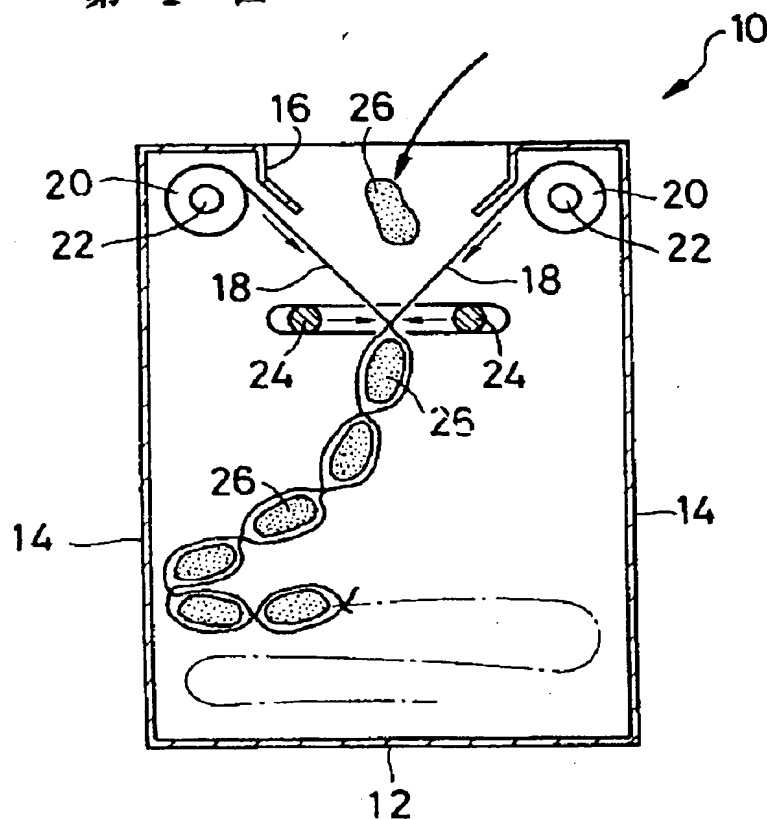
- | | |
|-----------|--------------|
| 10 : 汚物入れ | 16 : 投入口 |
| 20 : ロール | 18 : バック用シート |
| 24 : 操作棒 | |

実用新案登録出願人 株式会社 イナックス

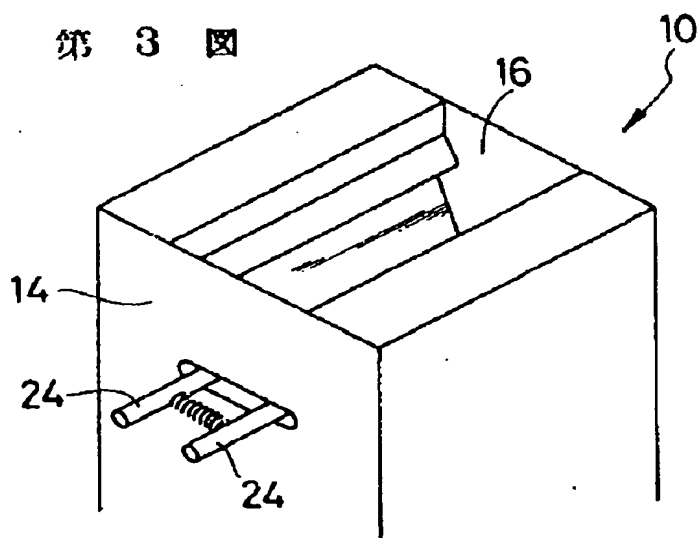
代理人 弁理士 吉田 和夫



第 1 図



第 3 図

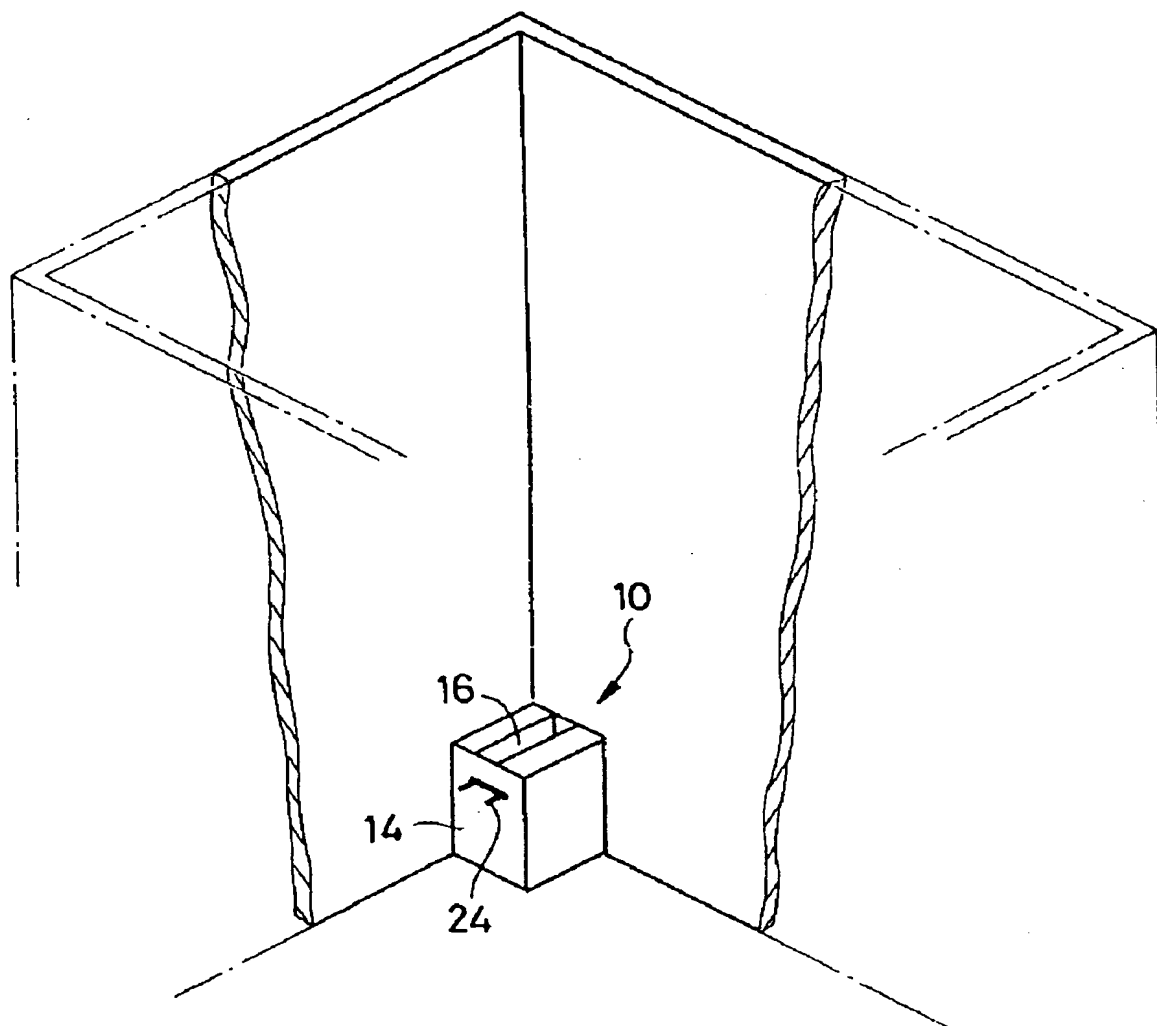


16

実用3-9302

出願人 株式会社 イナックス
代理人 弁理士 吉田 和夫

第 2 図



17

出願人 株式会社 イナックス
代理人 弁理士 吉田 和 夫

後図面なし

実開3-934

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.